



みんながイキイキ

川面ばあちゃんズ



子どもたちにお手玉遊びを教える川面ばあちゃんズ
(子育てふれあいフェスティバル会場にて)

11月4日に開催された「子育てふれあいフェスティバル」。会場には、さまざまな体験活動コーナーが設けられ、あちこちで子どもたちの歓声が上がっていました。その中の一つ、「川面ばあちゃんズ」の昔遊び体験では、多くの親子連れや子どもたちがお手玉づくりやお手玉遊びを楽しみました。「川面ばあちゃんズ」は、川面町で、生ゴミを堆肥に変える材料となるボカシづくりを中心に活動しているグループ。生ゴミの減量化に取り組もうと10年以上前に活動を始め、現在は約30人が参加しています。

「何かやろうと声を掛けると、ボカシづくり以外でも、それぞれの持ち味を生かして積極的に参加します。」

当日参加した藤村登志子さんは「少し難しい4枚はぎのお手玉を完成させた親子の『宝物にする』と微笑んだ顔、お手玉ができた時の子どもの笑顔にこちらもうれしくなりました。違う世代との交流ができてよかったです。」

また西村喜世子さんは「最初はどうかと心配もありましたが、300個ほど用意したお手玉もほとんどなくなりました。一人ではできなくても、みんな力で合わせればできることもありませう。これからも、いろいろなことに活動的になりたいですね」と話されています。

てくれるのが、このグループのいいところなんですよ」と代表の平桃枝さん(73)。

ボカシづくりでは年4回ほど集まりますが、時には、メンバーの中で得意な人が指導役となるなどして、桜餅や手打ちそば、巻き寿司づくりなどをする日も。

今回の同フェスティバルには、メンバーに地元小学生へお手玉づくり方を指導している人がいたことから、何か協力できればと参加しました。もともとグループ名はなかったのですが、参加に当たり、急ぎよ「川面ばあちゃんズ」と命名。「本当は『じいちゃん』もいるんですけどね」と平さん。



吉備国際大学の政策マネジメント学部が生まれ変わります！

国際環境経営学部 環境経営学科 誕生!

＜こんな人材育てます＞ 「環境経営」の分野を広く教育することに主眼をおいています。

持続可能な企業の発展に必要な戦略的環境経営に関する教育研究、環境ビジネス分野に必要な環境関連技術の保護・活用に関する教育研究、環境負荷低減に必須であるIT技術に関する教育研究を行います。

また、環境の専門基礎の知識に加え、現在社会の基盤となる経済学、法学、知的財産、IT、国際関係等を幅広く学びます。

さらに充実したキャリア開発科目により人間関係のスキルを身につけ、問題解決能力と社会人としての良識を養い、持続可能な社会の実現に向けて、環境政策および企業における環境経営の場で活躍できる人材を養成します。

コース名	内 容
【環境経営コース】 ～経済と環境の共存を追求する～	環境について自然科学と社会科学の知識を学び、加えて環境経営関連科目を学ぶことにより、戦略的環境経営を実践する能力を獲得します。
【知的財産経営コース】 ～知的財産の活用で環境を守る～	知的財産系科目を学び、環境技術開発のノウハウや特許を経営に活かすための知識と能力を獲得します。
【実践IT経営コース】 ～IT技術を駆使して地球環境を守る～	情報経営科目を学び、急速に変化する情報環境に対し新しいシステム創出を実現できる知識と能力を獲得します。

※現存の知的財産マネジメント学科、環境リスクマネジメント学科は大学院に昇格します。
大学卒業後、さらに専門の研究ができます。

■学科の内容や入試の問い合わせ 高梁学園入試広報室(フリーダイヤル0120-25-9944)

編集後記

青々としていた山々も気が付けば赤や黄に色づき、季節の変化を感じる今日このごろ。今月号は「食育」を特集しました。また、イベントでは「全国生涯学習フェスティバル」や「ふるさと祭り」などが開催され、まさに「食欲・芸術の秋」といったところでしょうか。

この時期は各地で秋祭りが行われ、「備中神楽」や「渡り拍子」などが奉納されます。

地域を思い伝統を大切にす人たちがいればこそ、この伝統芸能は次世代に受け継がれていきます。

伝統芸能や今回特集した「食」をはじめ今の生活全般に必要なことは、昔の習慣や伝統を大切に、その中で今の時代に適した新しさを発見すること。まさに「温故知新」(故きを温ねて新しきを知る)の精神ではないでしょうか。(T・K)

まちの伝言板

手づくり遊び教室

(毎月第3土曜日 午後1時30分～午後3時30分)
栄町商店街内にこここ広場
12月は「クリスマスリースと絵馬づくり」



吉備国際大学社会福祉学部
福祉ボランティア学科
白井絵里さん(21)

栄町商店街の空き店舗を改装してつくられた「こここ広場」。ここでは、商店街振興組合と吉備国際大学が協力して、「手づくり遊び教室」が開催されています。

少子化、核家族が進む中、土曜日の子どもたちに遊びの場を提供しようと、平成13年1月から毎月1回続けられており、毎回30～40人が参加。12月で83回目になります。おおむね小学生以下を対象に、ボランティアの学生数人の指導でベーゴマ、けん玉、アート、動くおもちゃなど手づくり遊びや体験をします。12月15日(土)は、クリスマスリースと絵馬づくり。指導にあたっては白井さんは、「毎月の題材はゼミの先生や先輩などにも相談し、なるべく子どもが興味を持つものをと考えています。子どもたちは一生懸命に取り組み、作ったものは大事に持ち帰ってくれます。親子での参加も大歓迎。毎月やっていますので、ぜひ遊びに来てください」と話します。

参加費は無料です。一度、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。
◆問い合わせ 栄町商店街振興組合 八木さん(TEL)22438)